

畑作の部

畑作科(長沼町)

I 気象概況

平成12年9月から平成13年11月中旬までの概況は次のとおりである。

平成12年

9月：平均気温は中旬に平年に比べ2.6℃高かった。降水量は上旬に94mmと多かった。日照時間は上中旬が少なかった。

10月：平均気温は上旬が高く、中下旬が低かった。降水量は全般に少なかった。日照時間は上旬が少なかった。初霜は平年より5日早い10月18日であった。

11月：平均気温は中下旬が2.7～2.8℃低かった。降水量は上旬が少なく、中旬が多かった。日照時間は中旬がやや少なかった。根雪始は平年より9日早い11月28日であった。

12月：平均気温は全般に低かったが、特に上旬は3.1℃低かった。降水量は中旬が少なく、下旬が多かった。日照時間は全般に多かった。

平成13年

1月：平均気温は上中旬が低く、特に中旬は平年に比べ6.8℃低かった。降水量は上旬が少なかった。日照時間は上中旬が多く、下旬が少なかった。

2月：平均気温は上中旬が2.8～3.9℃低かった。降水量は上旬が少なく、中旬が平年並で、下旬が多かった。日照時間は上旬が多く、下旬が少なかった。

3月：平均気温は上旬が低く、下旬がやや高かった。降水量は上旬が多く、中下旬が少なかった。日照時間は上旬が多く、下旬がやや少なかった。

4月：平均気温は中旬が平年より3.4℃高く、下旬が低かった。降水量は中旬がやや多く、下旬が少なかった。日照時間は上旬がやや少なく、中下旬が多かった。根雪終は平年より3日早い4月3日で、積雪期間は平年に比べ6日多い126日であった。耕鋤始は平年より2日早い4月18日、晩霜は平年より4日早い4月26日であった。

5月：平均気温は中旬が平年より2.6℃高かった。降水量は上中旬が少なかった。日照時間は中旬が多かった。

6月：平均気温は上下旬が高く、中旬が低かった。降水量は下旬が少なかった。日照時間は全般に多かった。

7月：平均気温は上下旬がやや低く、中旬がやや高かった。降水量は上中旬が多く、下旬がやや少なかった。日照時間は上中旬が少なかった。

8月：平均気温は上旬が2.7℃低かった。降水量は上中旬が少なく、下旬が多かった。日照時間は中旬に77.9時間と多く、下旬が少なかった。

9月：平均気温は下旬に2.4℃低かった。降水量は上中旬が台風などのため上中旬併せて227mmと多く、下旬が少なかった。日照時間は中旬が少なく、下旬がやや多かった。

10月：平均気温は上旬がやや低かった。降水量は上下旬が少なく、中旬が多かった。日照時間は上旬が少なかった。初霜は平年より4日遅い10月26日であった。

11月：平均気温は平年並であった。降水量は中旬が少なかった。日照時間は上旬がやや少なかった。降雪始は平年より3日遅い11月4日であった。

以上、農耕期間(4～10月)の気象を要約すると、気温は4月中旬及び5月中旬の高温、並びに8月上旬及び9月下旬の低温があったが、積算平均気温は平年より7℃低い3,056℃とほぼ平年並であった。降水量は6月までは少なめに経過したが、7月以降多くなり、特に8月下旬から9月中旬は多く、積算降水量は平年より56mm多い779mmであった。日照時間は6月までは多めで、8月中旬も一時多かったが、7月以降少なめに経過したため、積算日照時間は平年より42時間多い1,005時間と、ほぼ平年並であった。

気象表

道立中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
平成12年	9月	19.2	19.1	0.1	23.0	23.5	-0.5	15.9	15.1	0.8	94.0	30.0	64.0	6.0	4.9	1.1	37.3	53.8	-16.5	
	中旬	19.3	16.7	2.6	22.6	21.1	1.5	16.2	12.3	3.9	48.0	39.4	8.6	7.0	3.8	3.2	32.7	48.0	-15.3	
	下旬	15.3	15.1	0.2	19.9	19.7	0.2	11.2	10.3	0.9	56.0	54.5	1.5	4.0	5.1	-1.1	45.9	48.6	-2.7	
10月	上旬	14.6	12.7	1.9	18.5	17.4	1.1	11.0	7.8	3.2	28.0	36.3	-8.3	3.0	3.8	-0.8	31.5	49.9	-18.4	
	中旬	9.2	11.1	-1.9	14.2	16.0	-1.8	4.0	6.0	-2.0	22.0	29.8	-7.8	3.0	4.2	-1.2	45.1	48.5	-3.4	
	下旬	7.4	9.1	-1.7	12.5	13.8	-1.3	2.2	4.4	-2.2	1.0	35.4	-34.4	1.0	5.5	-4.5	51.4	49.6	1.8	
11月	上旬	6.8	6.2	0.6	10.9	10.5	0.4	2.7	1.7	1.0	4.0	24.8	-20.8	2.0	4.8	-2.8	37.3	38.0	-0.7	
	中旬	0.9	3.7	-2.8	4.0	7.6	-3.6	-2.4	-0.3	-2.1	49.0	31.4	17.6	8.0	5.2	2.8	24.0	27.7	-3.7	
	下旬	-0.4	2.3	-2.7	2.8	5.7	-2.9	-3.6	-1.1	-2.5	25.0	26.0	-1.0	6.0	5.2	0.8	33.3	31.8	1.5	
12月	上旬	-3.3	-0.2	-3.1	0.1	3.2	-3.1	-7.0	-4.0	-3.0	19.0	20.3	-1.3	5.0	5.0	0.0	32.2	27.6	4.6	
	中旬	-4.9	-3.3	-1.6	-1.5	0.1	-1.6	-8.9	-7.5	-1.4	17.0	27.8	-10.8	6.0	6.5	-0.5	40.7	28.7	12.0	
	下旬	-5.3	-3.7	-1.6	-1.0	-0.1	-0.9	-10.2	-8.4	-1.8	42.0	27.6	14.4	7.0	6.9	0.1	38.8	29.2	9.6	
平成13年	1月	上旬	-7.3	-5.4	-1.9	-2.4	-1.7	-0.7	-12.5	-10.1	-2.4	12.5	28.8	-16.3	2.0	5.8	-3.8	43.0	29.1	13.9
	中旬	-12.5	-5.7	-6.8	-6.6	-2.0	-4.6	-18.9	-11.0	-7.9	19.0	22.1	-3.1	2.0	5.8	-3.8	39.6	30.3	9.3	
	下旬	-7.8	-7.0	-0.8	-3.3	-2.9	-0.4	-13.6	-11.9	-1.7	19.5	20.7	-1.2	7.0	6.4	0.6	35.7	43.1	-7.4	
2月	上旬	-9.5	-6.7	-2.8	-4.8	-2.5	-2.3	-14.7	-11.9	-2.8	14.0	21.0	-7.0	3.0	5.9	-2.9	50.1	40.3	9.8	
	中旬	-9.3	-5.4	-3.9	-5.3	-1.3	-4.0	-13.8	-10.6	-3.2	24.0	25.9	-1.9	3.0	6.4	-3.4	46.4	44.6	1.8	
	下旬	-4.3	-4.4	0.1	-0.9	0.0	-0.9	-10.0	-9.8	-0.2	26.5	14.2	12.3	4.0	4.3	-0.3	26.3	40.2	-13.9	
3月	上旬	-5.1	-3.7	-1.4	-1.7	0.6	-2.3	-9.4	-9.0	-0.4	53.0	16.4	36.6	2.0	4.7	-2.7	66.8	55.6	11.2	
	中旬	-1.2	-1.5	0.3	2.9	2.0	0.9	-6.1	-5.8	-0.3	5.5	13.4	-7.9	3.0	4.9	-1.9	56.3	53.4	2.9	
	下旬	1.4	0.5	0.9	4.5	4.2	0.3	-1.7	-3.7	2.0	14.0	25.7	-11.7	3.0	5.0	-2.0	53.5	59.3	-5.8	
4月	上旬	4.2	3.5	0.7	8.6	7.5	1.1	-0.1	-0.5	0.4	11.5	10.7	0.8	1.0	3.5	-2.5	46.2	54.7	-8.5	
	中旬	8.6	5.2	3.4	13.7	9.4	4.3	4.2	1.0	3.2	23.0	17.0	6.0	3.0	3.4	-0.4	59.3	48.0	11.3	
	下旬	6.7	8.0	-1.3	12.1	12.9	-0.8	0.9	3.4	-2.5	1.5	21.3	-19.8	1.0	4.6	-3.6	69.3	48.6	20.7	
5月	上旬	8.3	9.2	-0.9	13.0	13.8	-0.8	4.9	4.9	0.0	19.5	39.1	-19.6	3.0	5.1	-2.1	44.2	48.5	-4.3	
	中旬	13.9	11.3	2.6	19.3	16.1	3.2	8.4	7.0	1.4	9.0	42.2	-33.2	3.0	4.3	-1.3	74.2	51.0	23.2	
	下旬	12.8	12.9	-0.1	17.5	17.6	-0.1	9.5	8.9	0.6	38.5	32.2	6.3	1.0	4.2	-3.2	49.3	53.0	-3.7	
6月	上旬	14.8	13.4	1.4	19.3	17.5	1.8	10.8	10.0	0.8	14.5	18.0	-3.5	3.0	4.0	-1.0	55.9	41.1	14.8	
	中旬	14.0	15.7	-1.7	18.6	20.0	-1.4	10.1	12.3	-2.2	20.5	15.0	5.5	3.0	2.7	0.3	50.9	43.1	7.8	
	下旬	18.3	16.5	1.8	23.4	21.0	2.4	14.5	13.0	1.5	6.0	16.3	-10.3	2.0	2.7	-0.7	61.9	48.2	13.7	
7月	上旬	17.5	18.2	-0.7	21.1	22.4	-1.3	14.8	15.0	-0.2	74.5	35.1	39.4	5.0	3.6	1.4	28.2	38.7	-10.5	
	中旬	20.2	19.3	0.9	23.9	23.4	0.5	17.8	16.2	1.6	51.5	29.9	21.6	5.0	3.0	2.0	17.3	38.8	-21.5	
	下旬	20.4	21.2	-0.8	24.4	24.9	-0.5	17.7	18.6	-0.9	43.0	54.1	-11.1	3.0	5.1	-2.1	34.0	32.6	1.4	
8月	上旬	18.1	20.8	-2.7	21.6	24.7	-3.1	15.3	17.7	-2.4	23.0	56.2	-33.2	2.0	3.6	-1.6	43.6	41.2	2.4	
	中旬	20.5	20.6	-0.1	25.6	24.2	1.4	16.7	17.8	-1.1	0.0	47.1	-47.1	0.0	4.4	-4.4	77.9	34.4	43.5	
	下旬	20.5	20.7	-0.2	23.8	24.8	-1.0	17.7	17.3	0.4	102.0	61.0	41.0	5.0	3.9	1.1	29.9	52.3	-22.4	
9月	上旬	18.5	19.0	-0.5	22.4	23.3	-0.9	14.9	15.1	-0.2	93.0	36.5	56.5	4.0	5.0	-1.0	51.3	50.8	0.5	
	中旬	16.9	16.9	0.0	20.1	21.3	-1.2	14.1	12.6	1.5	134.0	36.9	97.1	3.0	3.9	-0.9	25.7	48.2	-22.5	
	下旬	12.8	15.2	-2.4	18.3	19.8	-1.5	7.1	10.5	-3.4	4.0	54.2	-50.2	1.0	5.1	-4.1	59.5	47.5	12.0	
10月	上旬	11.8	12.8	-1.0	16.2	17.5	-1.3	7.6	8.1	-0.5	21.5	37.4	-15.9	4.0	3.6	0.4	31.7	47.7	-16.0	
	中旬	11.2	10.7	0.5	15.3	15.6	-0.3	7.4	5.6	1.8	77.5	27.9	49.6	5.0	4.0	1.0	42.8	47.1	-4.3	
	下旬	9.3	9.0	0.3	14.4	13.6	0.8	3.9	4.3	-0.4	11.0	35.1	-24.1	3.0	5.4	-2.4	52.2	47.2	5.0	
11月	上旬	6.0	6.1	-0.1	10.3	10.3	0.0	1.1	1.7	-0.6	27.0	21.6	5.4	4.0	4.5	-0.5	28.9	38.1	-9.2	
	中旬	3.2	3.3	-0.1	7.2	7.1	0.1	-0.7	-0.7	0.0	11.5	34.4	-22.9	3.0	5.6	-2.6	37.6	27.8	9.8	

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成3年～12年の確定値を10年間平均し、本年値は平成13年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

季節表

年次	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)	初霜 (年.月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (年.月.日)
本年	H12. 11.28	H13. 04.03	126	H13. 04.22	H13. 04.18	H13. 04.26	H13. 10.26	182	H13. 11.04
平年	12.07	04.06	120	04.13	04.20	04.30	10.22	174	11.01
比較	△ 9	△ 3	6	9	△ 2	△ 4	4	8	3

注)平年値は中央農試における平成3年～12年の10年間の平均値を用いた。

農耕期間の積算値

期間	項目	平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hr)
	4～10月	本年	3,056	4,004	2,231	779
平年		3,063	3,988	2,235	723	963
比較		△7	16	△4	56	42
5～9月	本年	2,528	3,188	1,989	633	704
	平年	2,564	3,212	2,013	574	670
	比較	△36	△24	△25	59	34

II 作況

1. 秋まき小麦 作況：やや良

事由：9月上旬の降水量が多かったため、圃場の乾燥が進まず、播種は平年より9日遅い9月20日となり、出芽も平年より7日遅れた。このため、越冬前の生育は平年より劣った。根雪始は11月28日、供試圃場の根雪終は3月23日（融雪剤散布：平年4月2日）で、積雪期間は115日（同：平年119日）であった。根雪終が平年より早かったため、雪腐病の発病はほとんどなく、寒害による冬損が散見される程度であった。また、4～5月がやや高温、少雨、多照で推移したため、生育が進み、出穂期は平年より5～6日早まった。この間生育が進んでいたため、5月20日及び6月20日での草丈は平年より高く、茎数はやや少な目に経過した。

出穂後は気温が平年並からやや低めに経過したため、登熟期間が長くなり、成熟期は平年比1～2日の早にとどまった。

融雪が早く栄養生長期間を十分に確保したため、両品種とも栄養生長が旺盛で、平年に比べ稈長はやや長く、穂長はほぼ平年並で、穂数はやや多く確保された。加えて登熟期間が長くなったため、千粒重が平年より重かった。このため、子実重は平年対比109～113%の多収となった。リットル重は平年並からやや重く、穂発芽もみられなかったが、検査等級は成熟期直前に曇天が続いたため形質が劣り、「ホロシリコムギ」は規格外、「ホクシン」は2等で、平年より劣った。

以上により、本年の作況はやや良である。

品種名 項目 \ 年次		ホロシリコムギ			ホクシン		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H12.月.日)	9.20	9.11	9	9.20	9.11	9
出芽期	(H12.月.日)	9.27	9.20	7	9.26	9.19	7
出穂期	(H13.月.日)	6.05	6.10	△ 5	5.31	6.06	△ 6
成熟期	(H13.月.日)	7.22	7.23	△ 1	7.17	7.19	△ 2
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.6	1.3	△ 0.7	0.8	1.5	△ 0.7
草丈 (cm)	H12.10.20	21.8	23.7	△ 1.9	21.6	25.8	△ 4.2
	H13.5.20	55.9	45.7	10.2	53.4	45.3	8.1
	H13.6.20	110	100	10	98	94	4
茎数 (本/m ²)	H12.10.20	659	1122	△ 463	693	1209	△ 516
	H13.5.20	1113	1168	△ 55	1095	1229	△ 134
	H13.6.20	614	620	△ 6	657	725	△ 68
成熟期 に おける	稈長 (cm)	102	95	7	92	89	3
	穂長 (cm)	8.4	8.4	0.0	8.0	8.2	△ 0.2
	穂数 (本/m ²)	578	513	65	636	618	18
子実重	(kg/10a)	511	469	42	578	510	68
リットル重	(g)	764	764	0	791	780	11
千粒重	(g)	49.0	43.1	5.9	44.1	38.0	6.1
品質	(等級)	規格外	2中	—	2上	1下	—
子実重平年対比	(%)	109	100	9	113	100	13

注) 平年値は前7か年中、平成6年(最豊)、9年(最凶)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 春まき小麦 作況：良

事由：融雪剤散布により供試圃場の融雪期が早く、また融雪後降雨が少なかったため圃場の乾燥が進み、播種は平年より10日早い4月18日に行った。播種後やや低温・干ばつ気味に推移したが、平年より9日早い5月1日に出芽期に達した。出芽が平年より早まり、また出芽後の気温が高めに推移したため、生育は進み、出穂期は平年比6日早の6月19日となった。

登熟期間は7月上旬の低温により長くなり、成熟期は平年比2日早の7月31日となった。播種が早く栄養生長期間が長かったため、生育は旺盛で、穂長以外の形質は平年よりも良好であった。このため、子実重は425kg/10a、平年比189%とかなりの多収となった。ただし、登熟期後半の天候が不順であったため、粒の肥大が劣り、千粒重はほぼ平年並であった。また、穂発芽が散見され、外観品質はやや劣り、検査等級は2等に格付けされた。

以上により、本年の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		ハルユタカ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.18	4.28	△ 10
出芽期	(月.日)	5.01	5.10	△ 9
出穂期	(月.日)	6.19	6.25	△ 6
成熟期	(月.日)	7.31	8.02	△ 2
草丈 (cm)	5月20日	21.3	10.2	11.1
	6月20日	80	57	23
茎数 (本/m ²)	5月20日	588	305	283
	6月20日	668	680	△ 12
成熟期 に おける	稈長 (cm)	93	80	13
	穂長 (cm)	8.2	8.5	△ 0.3
	穂数 (本/m ²)	497	417	80
子実重	(kg/10a)	425	225	200
リットル重	(g)	764	750	14
千粒重	(g)	35.3	35.5	△ 0.2
品質	(等級)	2中	2下	—
子実重平年対比	(%)	189	100	89

注) 平年値は前7か年中、平成8年(最凶)、9年(最豊)を除く5か年平均。

3. 大豆 作況：平年並

事由：播種期は平年並であった。播種後降水日数は少なく、気温も平年並に経過したが、出芽期は平年より4日早かった。6月中旬が低温に推移したため、生育がやや停滞し、低温の影響で葉脈褐変や葉縁黄化などの症状が認められた。6月下旬、7月中旬高温に経過したため、低温による障害の症状は回復し、7月中、下旬に十分な降雨もあったためこの間の生育は順調であった。「ツルムスメ」の開花期は平年並で、「ユウヅル」は平年より2日早かった。8月上旬は低温に推移したが中旬には回復しその後平年並に経過し、9月下旬が少雨であったため乾燥も順調に進み、「ツルムスメ」の成熟期はほぼ平年並であった。9月下旬～10月上旬にかけて低温に推移し、10月中旬が多雨であったこともあり「ユウヅル」の成熟期は平年より8日遅かった。

「ツルムスメ」の主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年をやや下回り、分枝数は平年並であった。着莢数は平年を約7%上回ったが、一莢内粒数は平年よりやや少なく、子実重は平年を4%上回り、百粒重は平年より重かった。低温による臍着色のため検査等級は平年より劣った。一方、「ユウヅル」は参考値を除く2か年平均との比較であるが、主茎長は平年より17cmと大幅に長く、主茎節数はやや多く、分枝数は少なかった。莢数は平年の78%と少なかったが、これは開花期間にあたる8月上旬が低温に推移したためと考えられる。一莢内粒数はほぼ平年並、子実重は平年比85%と低収で、百粒重は平年よりやや重かった。臍着色程度は軽微であるが裂皮発生のため検査等級は平年より劣った。

以上により、本年の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		ツルムスメ			ユウヅル		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.21	5.21	0	5.21	5.21	0
出芽期	(月.日)	5.31	6.04	△ 4	5.31	6.04	△ 4
開花期	(月.日)	7.19	7.20	△ 1	7.26	7.28	△ 2
成熟期	(月.日)	9.28	9.27	1	10.20	10.12	8
主茎長 (cm)	6月20日	9.3	10.0	△ 0.7	9.9	9.7	0.2
	7月20日	43.6	43.2	0.4	44.4	35.8	8.6
	8月20日	54.8	52.2	2.6	85.9	71.4	14.5
	9月20日	55.9	52.6	3.3	88.8	72.2	16.6
	成熟期	54.1	52.7	1.4	87.0	70.0	17.0
主茎節数 (節)	6月20日	3.4	3.4	0.0	3.4	3.2	0.2
	7月20日	10.5	10.4	0.1	11.0	9.6	1.4
	8月20日	11.5	12.5	△ 1.0	14.9	15.1	△ 0.2
	9月20日	12.1	12.8	△ 0.7	15.8	15.1	0.7
	成熟期	11.4	12.8	△ 1.4	15.8	14.5	1.3
分枝数 (本/株)	7月20日	5.4	4.9	0.5	2.6	3.2	△ 0.6
	8月20日	6.4	5.5	0.9	4.5	5.8	△ 1.3
	9月20日	6.2	5.6	0.6	4.0	5.8	△ 1.8
	成熟期	6.4	5.8	0.6	3.6	5.8	△ 2.2
着莢数 (莢/株)	9月20日	53.1	49.7	3.4	56.3	61.6	△ 5.3
	成熟期	53.6	50.0	3.6	49.7	63.7	△ 14.0
一莢内粒数		1.89	1.93	△ 0.04	1.86	1.84	0.02
子実重	(kg/10a)	353	340	13	324	382	△ 58
百粒重	(g)	47.2	45.8	1.4	45.6	43.8	1.8
屑粒率	(%)	2.1	1.1	1.0	1.6	0.7	0.9
品質	(等級)	3中	2下	—	特加	3下	—
子実重平年対比	(%)	104	100	4	85	100	△ 15

注) 平年値は前7か年中、平成6年(最豊)、8年(最凶)を除く5か年平均。

ただし、「ユウヅル」は6月以降は平成12年、7月以降は平成9年、8月以降は平成10年(各参考値)も除く平均値。

子実重及び百粒重は水分15%換算値。検査等級の「特加」は特定加工用合格。

4. 小豆 作況：良

事由：播種期は平年より3日遅れの5月24日であった。播種後、高温多照に経過したため、やや干ばつ気味であり、発芽が始まったのは5月31日の降雨以降であった。そのため出芽期は平年に比べ4日遅い6月12日であった。その後も出芽が揃わず生育は滞った。しかし、7月上旬、中旬の降雨、6月下旬、7月中旬の高温により生育は急速に回復し、7月下旬には主茎長は平年に比べ7.1cm長い24.8cmで、分枝数は平年に比べ2.0本多い3.8本となった。また、開花期は平年に比べ2日早い7月23日であった。その後気温はやや低く推移したが、降水量が少なく、日照時間も多かったことから生育は順調に進んだ。主茎長が長く、徒長気味であったため倒伏が見られたが、8月下旬には着莢数は平年比170%と大きく上回った。7月以降曇天が多かったため登熟期間が延びて成熟期は平年より12日遅れ、9月15日であった。子実重は344kg/10aで、平年比162%の多収であった。収量構成要素別では、着莢数は平年より7.2莢多い46.8莢/株で、一莢内粒数は平年並の6.41粒であった。百粒重は登熟期間が長くなったことから重くなり、平年比125%の14.2gであった。屑粒率は9月上旬の台風による降雨の影響で雨害が発生し、腐敗粒の発生が多く、18.9%であった。そのため検査等級は平年より劣る4下であった。

以上により、本年の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.21	3
出芽期	(月.日)	6.12	6.08	4
開花期	(月.日)	7.23	7.25	△2
成熟期	(月.日)	9.15	9.03	12
主茎長 (cm)	6月20日	2.6	5.4	△2.8
	7月20日	24.8	17.2	7.1
	8月20日	62.0	44.4	17.6
	成熟期	67.5	42.5	25.0
主茎節数 (節)	6月20日	1.1	1.8	△0.7
	7月20日	7.8	7.5	0.3
	8月20日	12.8	12.4	0.4
	成熟期	11.9	12.0	△0.1
分枝数 (本/株)	7月20日	3.8	1.8	2.0
	8月20日	4.0	3.4	0.6
	成熟期	3.5	3.3	0.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	58.0	34.0	24.0
	成熟期	46.8	39.6	7.2
一莢内粒数		6.41	6.42	△0.01
子実重	(kg/10a)	344	212	132
百粒重	(g)	14.2	11.4	2.8
屑粒率	(g)	18.9	2.4	16.5
品質	(等級)	4下	2下	—
子実重平年対比	(%)	162	100	62

注) 平年値は前8か年中、平成5年(最豊)、12年(最凶)および8年(茎疫病多発)を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 作況：良

事由：植付期は5月8日で、平年より4日遅かった。5月中旬の好天により萌芽は早まり、平年より1日早い5月25日に萌芽期に達した。生育前半はやや高温、多照で経過したため、生育は順調であったが、やや少雨のため開花が抑制され、開花始は6月24日と、平年より3日遅かった。開花後、7月上旬からの多雨・少照により、茎の生育は軟弱であり、倒伏も見られた。また、軟腐病、疫病、夏疫病などの病害が発生した。このため、平年より3日早い8月22日に枯凋期となった。

枯凋後の多雨により収穫作業が遅れたこともあり、塊茎腐敗が6%程度発生した。上いも数は、生育前半の順調な生育を反映して、平年比140と多かったが、塊茎肥大とでん粉の蓄積は、7～8月の不順な天候と倒伏や葉部病害の発生によりやや劣り、上いも1個重が平年比93であった。このため、上いも重は4,734kg/10aで平年より37%、中以上いも重では平年より29%上回る多収であった。しかし、でん粉価は14.3%で、平年比97と平年よりやや下回った。

以上により、本年の作況は良である。

項目 \ 年次		品種名 男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.08	5.04	4
萌芽期	(月.日)	5.25	5.26	△ 1
開花始	(月.日)	6.24	6.21	3
枯凋期	(月.日)	8.22	8.25	△ 3
茎長 (cm)	6月20日	34	28	6
	7月20日	42	38	4
茎数	6月20日	5.7	4.5	1.2
	7月20日	5.6	4.4	1.2
8月20日における				
上いも数	(個/株)	14.7	9.2	5.5
上いも平均一個重	(g)	73	85	△ 12
上いも重	(kg/10a)	4667	3457	1210
でん粉価	(%)	14.3	14.5	△ 0.2
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	13.6	9.7	3.9
上いも平均一個重	(g)	78	84	△ 6
上いも重	(kg/10a)	4734	3446	1288
中以上いも重	(kg/10a)	3596	2790	806
でん粉価	(%)	14.3	14.8	△ 0.5
でん粉重	(kg/10a)	630	476	154
上いも重平年対比	(%)	137	100	37
中以上いも重	" (%)	129	100	29
でん粉重	" (%)	132	100	32

注) 平年値は前7か年中、平成6年(最凶)、8年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g以上、「中以上いも」は61g以上のいもである。

6. てんさい 作況：平年並

事由：播種期は4月3日で平年より4日早かった。移植期は5月2日で平年より6日早く、移植時の苗質はやや軟弱徒長気味であった。移植時の天候は低温、乾燥、強風で、移植後も低温・乾燥が続いたため、植え痛みや欠株が生じ、補植を必要とした。活着期は6月1日頃で、それ以降の好天により、地上部の生育はやや干ばつ気味ながらも平年を上回る順調な生育を示した。7月からの多雨・少照により、生育はやや軟弱気味であったが、草丈、葉数は平年を上回り、根部肥大も順調であった。8月以降の気象が全般にやや低温と平年並の日照・降水量で経過したため、地上部の生育並びに根部肥大はいずれも平年値を上回り、収穫期まで順調な生育を示した。また、8月～9月は最高気温が低かったことから、褐斑病の発生が抑制され、根腐病の発生も少なかった。

収穫期は10月12日で平年並、茎葉重は6.21t/10aで平年対比180、根重は8.04t/10aで平年対比109と平年を上回った。しかし、根中糖分は14.86%で、平年対比90と平年値より大きく下回り、糖量では1195kg/10aで、ほぼ平年並であった。この原因として、供試圃場が基盤整備後の堆厩肥連用で土壌肥沃度が高くなった結果、地上部生育が旺盛となった反面、根部の糖分蓄積が十分に行われず、著しい低糖分になったものと推察された。

以上により、本年の作況は平年並である。

項目 \ 年次		モノホマレ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.03	4.07	△ 4
移植期	(月.日)	5.02	5.08	△ 6
収穫期	(月.日)	10.12	10.12	0
草丈 (cm)	5月20日	5.4	4.5	0.9
	6月20日	28.4	24.8	3.6
	7月20日	59.6	50.8	8.8
	8月20日	65.7	58.7	7.0
	9月20日	64.7	59.3	5.4
	収穫期	62.3	57.1	5.2
葉数 (枚)	5月20日	4.4	2.3	2.1
	6月20日	13.1	10.3	2.8
	7月20日	23.8	19.2	4.6
	8月20日	29.2	22.7	6.5
	9月20日	36.3	25.6	10.7
	収穫期	36.3	25.6	10.7
根周 (cm)	7月20日	24.3	21.4	2.9
	8月20日	30.6	28.9	1.7
	9月20日	36.1	32.8	3.3
	収穫期	37.7	34.2	3.5
茎葉重	(kg/10a)	6.21	3.46	2.75
根重	(kg/10a)	8.04	7.36	0.68
根中糖分	(%)	14.86	16.45	△ 1.59
糖量	(g)	1195	1213	△ 18
根重平年対比	(%)	109	100	9
根中糖分平年対比	(%)	90	100	△ 10
糖量平年対比	(%)	99	100	△ 1

(注) 平年値は前7か年中、平成10年(最豊)、12年(最凶)を除く5か年平均。

耕種概要

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

	一区面積 (m ²)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/m ²)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	9.6	4	緑肥	30	条播	—	340	—
春まき小麦	7.2	4	緑肥	30	条播	—	340	—
大豆	25.2	3	秋まき小麦	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	緑肥	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	春まき小麦	75	30	1	—	4,444
てんさい	14.4	4	緑肥	60	23.8	1	—	7,003

	10a当たり施肥量(kg)				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
秋まき小麦	4.0+6.0	12.5	5.0	—	5,000
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	5,000
大豆	1.5	11.0	7.5	3.5	—
小豆	4.0	19.2	9.2	2.4	—
ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0	5,000
てんさい	15.4	25.2	16.8	5.6	5,000